

Exhibition Match Sporting Regulation 2020



2020年度 ロードスター・パーティレースⅢ 模擬戦 競技規定

1. 大会

本レースは、国際自動車連盟 (FIA) の国際モータースポーツ競技規則に準拠した模擬戦とし、本競技規定、およびサーキット規定に従って開催される。全ての参加者は、これらの諸規定に精通し、これを守るとともに主催者および競技役員からの指示に従う義務を負うものとする。

2. 組織

- 本レースは、ピーススポーツ・パーティレース事務局 (以下 B-Sports) が「ロードスター・パーティレースⅢ エキシビジョンマッチ in 富士スピードウェイ」の名称を付して組織、開催する。
- B-Sports は、シリーズとしての統一性維持およびオーガナイザーの競技役員に協力する目的で「レースディレクター」を大会に派遣する場合がある。その際、レースディレクターは大会競技長と協議をしながら役務を遂行する。レースディレクターの役割 (義務) は、大会期間中 (参加受付から正式結果発表まで) に発生した違反行為の判定に関して、シリーズを通じた独自の判断に基づく提言を競技長に行い、大会における競技運営および判定基準の平準化を図るものとする。ただしレースディレクターは、レース運営や判定に関する最終的な判断を下す権限を競技長に委譲する。

3. 大会スケジュールおよびレース距離

大会	開催日	レース形式・周回数	開催場所
模擬戦	3月14日 (土)	スプリント 8ラップ (約37km)	富士スピードウェイ (4.563km)

※開催日、内容は諸事情により変更する可能性がある。
※詳細なタイムスケジュールは公式通知にて示す。

4. 参加クラス

本レースは、以下の2つのクラス区分によりレースを実施する。

NDクラス	ND型ロードスターNR-Aユーザーを対象としたクラス。
NCクラス	NC型ロードスターNR-Aユーザーを対象としたクラス。

- 同一開催日に、異なるドライバーが同一車両でそれぞれ異なるクラスに参加することは認められない。また、同一開催日に、一人のドライバーが複数のクラスに参加することは認められない。
- クラスを追加・変更・中止する可能性がある。また、各クラスの参加台数が45台未満の場合は、そのレースの挙行を中止、レースの合併、レース距離の短縮を行う場合がある。

5. 参加資格

- ドライバーは、JAF 国内競技運転者許可証 A クラス以上の所持者であること。また、JAF の定める条件を満たせば、JAF 以外の ASN が発給する競技者証の所持者も参加が認められる。
- ドライバーならびにピットクルーが20歳未満の場合は、観戦者の承諾を必要とする。
- 同日開催日に他の競技に重複して参加しないことを強く推奨する。また、重複して参加する場合には、いかなる理由があろうとも本レースとそのスケジュールを最優先に参加することが義務づけられる。
- 上記の条件を満たしたドライバーならびにピットクルーでも、B-Sports もしくは各オーガナイザーがパーティレースに相应しないかと判断した場合、その理由を示すことなく参加申込の拒否を行う。
- ドライバーならびにピットクルーは、競技中に有効な保険に加入することを強く推奨する。

6. ドライバーおよびチームの遵守事項

- 本レースは公式戦に向けた模擬戦であり、ナンバー付車両で純粋にレースを楽しみたい大人が集まる場であることを十分に理解し、他の参加者や競技役員を含む全ての関係者への思いやりを持ち、スポーツマンシップに則り、楽しく安全に走ることを第一に心掛けること。
- チームの責任者は、競技参加者許可証もしくは競技運転者許可証の所持者で、競技参加者許可証の所持者がいない場合は基本的にドライバーとして登録された者とし、競技会期間中は必ずチームに帯同していないといけない。チームの責任者が異なる場合には、当初の責任者より異なる有資格者を指名した旨の委任状を B-Sports にあらかじめ提出しなければならない。
- チームの責任者は、ドライバー、ピットクルーおよびゲストに対し諸規則を遵守させる責任を有するものとする。ドライバー、ピットクルーおよびゲストは、各自の責任において安全の確保を徹底しなければならない。また万一事故等が発生した場合においても、その責任は各自が負うものとし最終的責任はチームの責任者が負わなければならない。
- 車両検査の立ち合いや、競技中にピット作業エリアやサインガードに立ち入ることができるのは、参加申込時に登録されたチームメンバーに限られる。
- 後続車の走行ラインを意図的に塞いだり、コーナーの極端に手前からインパクトを続けた後、併走する相手の走行ラインを残さなかったり、幅寄せなどで他の参加者を威嚇する走行をしないこと。
- 意図的に後続車両に道を譲る際は、自車の走行ラインをウィンカーで示すことを推奨する。その際は、自車が維持したい走行側のウィンカーランプを点灯させること。また、他車に自車の存在を知らせるためのライトオン走行 (ハイビームを点灯) は認められる。ライトのバッシングは、前車のペースが明らかに遅く、幻惑行為にならない使用頻度と車間の場合にのみ認められる。

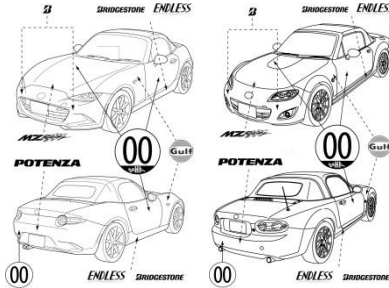
7) 万一、他の車両と接触した場合には、正式競技結果が発表される前に、接触した双方のチームの責任者同士と話し合い、互いに遺憾を察せよう努力しなければならない。競技中の接触は互いの自己責任とし、その補償を他に求めてはならない。

7. 参加車両、ゼッケンの表示、ドライバーの装備品

- 参加車両は、別掲の車両規定に適合した車両でなければならない。
- ゼッケン番号は、参加者の希望 (1~199番までの範囲とする) とそれまでの使用実績を考慮し、B-Sports が決定する。また、ゼッケン番号およびゼッケンベースは B-Sports 指定のもの (Party Race III ロゴ入り) に限り使用が認められる。ただし、2015年度までパーティレースで指定されていた旧デザイン (MAZDA ロゴもしくは Party Race II ロゴ入り) の継続使用は認められる。購入を希望する場合には、本大会の参加申込書の所定欄に記入し、参加料とともにゼッケン代金 11,000円 (税込/1set) を支払うものとする。
- ドライバーは、JAF 国内競技車両規則第4編付則「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則」に従い装備品を整えること。また、頭部および頸部の保護装置 (FHR システム) を使用しなければならない。

8. 広告スペース

- 参加者は、B-Sports および当該主催者の為に広告スペースを提供しなければならない。その位置および数は以下の図のとおりとする。スポンサーステッカーは B-Sports より配布されたものを使用すること。



2) B-Sports および各大会オーガナイザーが参加クラスを識別するステッカー類を配布する場合がある。その場合には、指定の位置に貼付しなければならない。

3) シリゼスポンサーおよび各大会スポンサーと競合する個人スポンサーロゴの露出は認められない。特例として、競合するオイル製品・企業ロゴの露出は妨げないが、シリゼスポンサーと同じポティバーツ面への露出は認められない。

9. 参加申込

- 参加申込は、ロードスター・パーティレース公式サイト (<https://www.party-race.com/>) のWEB レースエントリーから行うこと。
- 参加料の支払いは、クレジットカードによるオンライン決済、銀行振込とする。銀行振込を選択した場合は、参加申込の意思を表明後3日以内 (ただし、参加受付期間中であること) に支払いを完了しなければならない。銀行振込は下記を指定口座とし、振込手数料は参加者負担とする。

金融機関名	みずほ銀行	店名	渋谷支店	口座種目	普通口座
口座番号	1323717	口座名義	カ) ピーススポーツ		

※振込名義は参加ドライバー名と同一でなければならない。異なる場合には、B-Sports に対し事前にその旨を伝えなければならない。
- 参加申込が成立するのは、規定の方法による参加申込の意思表明と、参加料の入金の両方を B-Sports が確認できた時点とする。参加受付台数は45台を定員とし、先着申込順とする。
- 参加申込の意思を表明後、やむを得ずその意思を取り消す場合には、表明後3日以内 (ただし、参加受付期間中であること) に B-Sports まで必ず連絡すること。連絡が無い場合は参加の意思に関わらず参加料金が請求される。
- 受付期間
2月3日 (月) 10時~2月23日 (日)
- 参加申込書に記載する車名欄には、必ず当該参加クラス車両名 (「ロードスター」または「ROADSTER」の文字) が含まれていなければならない。車両名が正しく含まれていない場合には、B-Sports の判断により車名を変更するものとし、その変更に対する異議は受け付けられない。
- 参加申込受付期間後、主催者で書類審査の上、特に指定がない場合はエントリー宛に正式参加受理書を送送する。

10. 参加料

- 参加料: 41,800円 (税込/1エントリーにつき/富士スピードウェイの入場料は別途必要)
- レースが中止になる場合を除き、一旦支払った参加料は返還されない。ただし、レースが中止になったり、定員に漏れる等の理由で参加が受理されなかったり、本規定 9.5) に規定された期間内に参加を取り消した場合には、返金事務手数料として総支払額の10%を差し引いた金額が返金される。

11. ソフトトップ

予選、決勝を通じて競技長からの指示が限り、オープン状態での走行が義務付けられる。

12. 予選

- ドライバーは、必ず定められた時間に行われる当該クラスの予選に参加しなければならない。その際に使用する車両は、車両検査に合格したものに限られる。
- 予選方法はタイムトライアル方式とする。義務周回数とは定められないが、少なくとも1周はラップタイムが計測されなければならない。予選走行に関する諸規則は、特に定められていない場合、決勝レースと同様とする。
- 予選結果の順位は、それぞれのドライバーが記録した最高ラップタイム順に決定される。2名以上のドライバーが同一の最高ラップタイムを記録した場合には、最初にそのタイムを出した車両が優先され、以下この方法に準じて順位が決定される。

13. ピット規定

- ピットインの場合は、手または方向指示器で後続車に合図をし、ピットレーン入り口から徐行しながら減速帯を進行し、十分に減速してから停車帯に入り自己のピット作業エリア前で停車し、エンジンを一旦停止しなければならない。
- 競技中はピットガレージ内での作業は禁止する。競技中にピットガレージ内やバックに車両を進めた場合、予選中は走行終了、決勝中はリタイアしたものと判定される。
- ピットレーン通過速度は、各サーキット指定の制限速度に従うものとする。
- 自己のピットエリアで作業できる人数は、ピットクルーもしくはドライバーとして登録された3名までとする。
- 自己のピット前を通り過ぎてしまった場合は、競技役員の許可を得た後、自己のピット要員によって戻すことができる (ピット内でドライバーの使用は、厳重に禁止される)。
- 競技中にピットレーンに進入した場合は、ドライバーペナルティやペナルティストップを科せられた場合を除き、必ず自己のピットに停車しなければならない。
- ピット作業の場合を除いて、ピット要員がピット作業エリアに立つことを禁止する。
- 競技中は、ピット作業エリアでのタイヤやラジエター等の冷却のための水・氷等の使用、燃料や油類の補給は禁止される。
- コースへの復帰は競技役員からの指示または、ピット出口の信号灯火に従わなければならない。
- 無線機の使用は一切禁止する。ただし、一般に市販される携帯電話同士による通信のみ認められる。

14. 決勝レース

- レーススタートの方法は、ローリング・スタートとする。
- 決勝スタート
①3分前ボード表示...ドライバーは車両にて待機し、競技役員を除く全ての者はコース上から退去する。
②1分前ボード表示...ドライバーは車室内に着座したままエンジンを始動する。
③スターターからの緑色の旗の振動・オフシッルカーを先頭に競技車両はスターティンググリッドの隊列を保ちながらフォーメーションラップ (1周) を開始する。この周回数の追い越しは許されない。
④フォーメーションラップの際に、スタートに出遅れた車両およびフォーメーションラップ途中で正しい位置が保てなかった車両は最遅期につけるものとする。
⑤フォーメーションラップが開始された時点で、スタートラインの信号灯に赤ランプが点灯され、他のオブザベーションポストではイエローフラッグが提示される。
⑥フォーメーションラップ先陣中のオフシッルカーの速度は、最高90km/hに保たれる。後続車両は前方車両から10車身以上上られぬよう走行しなければならない。また、後続の隊列を乱すような加速や減速は禁止する。
⑦オフシッルカーは、フォーメーションラップ終了と共にコースから退去する。先頭車両は、スタート信号 (緑ランプ) が合図されるまで、最低速度約70km/h、最高速度約90km/h にてそのまま走行を続けなければならない。
⑧最終コーナーの立ち上がりからメインストレートまでは、スタート信号が合図されるまで、自車両に前後られたイン側またはアウト側のスターティンググリッドボックスの列を左をばみ出さずに行進しなければならない。
⑨スタート信号は、競技長が管理するスタート信号 (緑ランプ) により合図される。各車両は、スタートラインを通過するまで他車の強い越しは禁止される。
⑩フォーメーションラップ中に何らかの問題が発生した場合には、スタートラインの信号灯に赤ランプが継続的に点灯され、他のオブザベーションポストではイエローフラッグが提示される。オフシッルカーが再度先頭車両の前に合流し、全車はもう1周のフォーメーションラップを行うこととなる。

15. レースの中断

- 事故によってサーキットが閉鎖されたり、天候またはその他の理由で競技の継続が危険となったため、決勝レースを中断する必要が生じた場合、競技長は赤旗をすべての監視ポストで、また赤ライト (中断ライト) をライン上において提示することを命ずる。
- 中断の合図 (赤旗) が出されたら、追い越しは禁止され、ピット出口は閉鎖される。全車はピットインし、レースはそのまま終了とする (再開はしない)。
- レースは中断の合図が出された周回の1つ前の周回が終了した時点の競技結果が採用される。

16. タイヤ本数の制限

- 予選、決勝を通じて使用できるタイヤは4本までとする。
- パースト等のやむを得ない理由の場合のみ、競技長の判断により追加使用が許される。その際、予選終了後に交換する場合、レースは最後スタートとなる。競技長の許可無くタイヤ交換作業を行った場合には、ペナルティを科せられる。

17. 燃料

- 公式予選中ならびに決勝レース中の給油は禁止とする。
- 競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF 国内競技車両規則第3編第1章第8条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンジから販売されている (潤滑油以外のいかなる添加物も含まない) 自動車用無鉛燃料を使用すること。
- ガス欠状態を回避するため、十分な量のガソリンを給油して競技に参加することを強く推奨する。安全燃料タンクならびにコレクタータンの使用は禁止される。ガス欠症状が出た場合、走行中に車両が停止する危険が高いため、速やかに走行路上に車両を移動しなければならない。競技役員からの指示があった場合や危険回避を除き、一時的でも走行中で停止した場合、失格とする。

18. レース終了および順位決定

- 優勝車両はそのレース距離の走行を最短期間で終了した車両とする。その順位決定は周回数とコントロールラインの通過順に基づいて行われる。
- 優勝車両のレース距離の70% (小数点以下切捨て) に満たない車両には順位判定が行われないものとする。
- 発生理由やペナルティを科せられるかどうかを問わず、審判員から他車との接触の判定を受けた場合には、順位判定が行われないものとする。また、この判定に関する抗議は受け付けられない。

19. 車両整備

大会期間中に認められる車両に関する作業は、一般公道用途における車両の日常点検整備 (脱着を伴う作業を含む) に限る以下の内容のものとす。ただし大会技術委員長からの許可がある場合はこの限りではない。

- ①エンジンオイル、トランスミッションオイルの点検補充、交換
- ②ブレーキフルード/クラッチフルードの点検補充、交換、エア抜き作業
- ③冷却水、クーラントの点検補充
- ④バッテリーの点検、充電、液の補充
- ⑤エアフィルターの点検、清掃
- ⑥タイヤの点検、エア圧点検、調整
- ⑦ホイールの点検、取り付けの確認
- ⑧ウォッシャー液量点検、ウォッシャー液の補充
- ⑨燃料給油
- ⑩競技ゼッケン、各種ステッカーの交換
- ⑪部品の取り外しを伴わないアライメント調整
- ⑫本規定で許されたアクセサリ等の自動車部品の脱着
- ⑬エアバック作動コネクタの接触または接触解除
- ⑭アクティブネットワーク作動コネクタの接触または接触解除
- ⑮ブレーキ自動制御システムの作動停止に必要な最小限の作業
- ⑯上記項目以外で車両より部品の取外しを伴わない各部の清掃

20. 賞典

- 大会賞典
①各大会のクラス別賞典は上記の通りとする。
1~6位 トロフィー
②各大会賞典は、各クラスの決勝出場台数により、賞の制限を行う。入賞は6位を超えない出走台数の50% (端数切捨てとし、1台の場合には大会賞典は用意されない) としてする。

21. 特別賞

上記の賞典とは別に特別賞を B-Sports が設定する場合がある。特別賞の受賞者の決定は B-Sports が行うものとし、その決定に対する抗議は認められない。

22. 本規定に記載されていない事項

本規定に記載されていない事項については、公式通知により公示される。なお、本規定の変更や解釈は B-Sports プルテンとして B-Sports より公示される。